

## 1. SDGs の基礎知識

### ①SDGs ってなんだろう

SDGs (エス・ディー・ジーズ Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) は持続可能な社会を実現するために、2015年に国連で採択された、2016年から2030年までの世界共通の国際目標です。

簡単に言うと、「全人類で良い地球づくり」を目標にしたものです。

### SDGs は必要なもの？

これまで地球上では急速な文明の発展を遂げてきました。私たちが住んでいる日本では、衣食住、教育、余暇、医療が充実し、豊かな生活がおくれています。しかし、その豊かさを維持するために膨大な資源やエネルギーの消費がなされてきました。その結果として、エネルギーの枯渇問題や地球温暖化など環境問題を引き起こしています。

また、世界では今、飢餓や人権侵害、経済格差、気候変動に伴う自然災害などさまざまな問題に直面しています。

このままでは、人類が安定して暮らし続ける地球ではなくなってしまうという危機感から登場したのがSDGsです。

SDGsでは、「誰一人取り残さない (No one will be left behind)」という基本理念のもと、地球上の課題を解決し、持続可能な世界を目指す17の目標と、目標を実現するための169のターゲット、取り組みを評価するための244の指標※(重複を除くと232)が設定されています。

※2020年3月の国連統計委員会において、この指標枠組の包括的な見直しが行われ、現在は247(重複を除くと231)のグローバル指標が承認されています。

### これまで何もしていなかったの？

SDGsの前にはMDGs(Millennium Development Goals: ミレニアム開発会議)が実施されていました。MDGsは先進国が主体となって途上国を支援する形で取り組まれ、SDGsの前身となる8つの目標が掲げられていました。

しかしMDGsにおいては、貧困の改善などの成果はあったものの、途上国が抱えている課題に対する目標が多く、「先進国から途上国への支援の取り組み」と捉えられることも多くありました。

同じ結果とならないように、SDGsでは、先進国と途上国が一丸となって課題の解決

に取り組むことを目標としています。そのため設定された 17 個の目標は、誰ひとりとして取り残さないことを目指して綿密に構成されています。

### 私たちは何をすればいいの？

地球上の課題は、一つの主導国や発展した途上国だけが解決を目指しても立ち行かず、先進国と途上国、すなわちすべての人が共通して取り組まなければ解決できないところまで問題は深刻化しています。

SDGs が掲げる 17 の目標は社会の持続可能性を実現する上で不可欠で、すべての人に関係があるものです。取り組める規模の大小は関係ありません。今日より明日がよい地球になるように、官民、営利、非営利、組織、個人の区別なくみんなで協力し、共通のゴールに向かって取り組んでいくことが必要になります。

「SDGs」これを合言葉にみんなで明るい地球づくりを進めていきましょう。

<執筆者> 株式会社 吉岡経営センター  
コンサルティング部 下村 和

<プロフィール>

中小企業の人事賃金制度構築支援を中心に活動。中小企業診断士の資格を有する。